



COPD教育・リハビリ入院を4月から開始します

COPD（慢性閉塞性肺疾患）とは

COPD（慢性閉塞性肺疾患）は、さまざまな原因で慢性的に吸った息を吐きだしにくくなる疾患です。進行すると体重が減少し、呼吸によって二酸化炭素を体外に十分排出できなくなり、最終的には二酸化炭素が貯留する呼吸不全に至ることがあります。

では、なぜCOPDの患者は痩せていくのでしょうか？

健康な人が呼吸で消費するカロリーは1日あたり36kcalから76kcal程度です。これは卵1個(80kcal)とほぼ同じです。

一方、COPDの患者は呼吸だけで1日あたり430kcal～720kcalものエネルギーを消費するといわれています¹⁾。その結果、筋肉が減少し、成人でありながら小児の筋肉量で呼吸をしなければならない状態になり、疲労が蓄積しやすくなります。こうした悪循環に陥る前に、適切な対策をとることが大切です。



治療のポイント

現在のCOPDの治療では、主に気管支を拡げる吸入薬が使われています。しかし、単に吸入薬を使用するだけでは、筋肉量を維持するには十分ではありません。

COPDの患者の健康を支えるには、次のような総合的アプローチが必要です。

✓適切な栄養摂取：

消化吸収の良い食事を運動前にとり、運動後の適切なタイミングで蛋白やビタミンを含む栄養を摂取する。

✓適切な運動：

呼吸筋や体幹の筋肉を鍛え、体力を維持する。

✓適切な吸入治療：

適切な方法で吸入薬を使用する。

例えば、運動前にエネルギー源となる食事を摂り、運動後にタンパク質やビタミンを含む栄養を摂取することで、筋肉の修復を助けることができます。

こうした包括的なケアを実践するには、正しい知識を学び日常生活に取り入れることが大切です。そのため、COPDの教育を含めたりハビリ入院の要望が多方面からあったため、医師・看護師・理学療法士・薬剤師・管理栄養士がチームを組み、プログラムを作り上げ、2025年4月から教育・リハビリ入院を開始する予定です。例えば、COPD罹患後吸入治療をしていたが、体重が減少してきて、ネットの動画などみて自分なりに工夫をして改善を図ったが体重が増えず、どうしたらよいか悩んでいる方などが治療の適応となります。



患者さまの権利

- ・個人として常にその人格を尊重される権利があります。
- ・自分が受ける医療に参加して自ら決定する権利があります。
- ・良質な医療を平等に受ける権利があります。
- ・自分が受けている医療について知る権利があります。
- ・十分な説明を受ける権利があります。
- ・診療上の個人情報やプライバシーが守られる権利があります。

COPD教育入院について

教育入院では、肺の気腫の状態・筋肉量を測定するために**CT検査**、肺活量や1秒率を測るため**肺機能検査**、全身の筋肉量を測定する**InBody検査**、骨粗鬆症の有無をしらべるため**骨塩定量**、**心エコー検査**、**血液検査**が行われ、その結果に基づき、**リハビリ指導**や**栄養指導**が個別で行われます。

退院後も、治療が継続できるようにサポートします。各種検査の結果は紹介元の開業医の先生に送付し、吸入治療や定期的な診察を継続していただきます。当院では、患者の呼吸機能や筋肉量を追跡するため、数カ月ごとの定期受診をお願いする予定です。

COPDと診断された方の中には、「吸入治療を続けているが体重が減ってしまう」「ネットでしらべて工夫しているが、なかなかうまくいかない」といった悩みを抱えている方が多くいるでしょう。教育・リハビリ入院は、そのような方にとって助けになる可能性があります。

ご興味がある方は、かかりつけ医に相談してください。



参考文献

1) Brown SE, Light RW, et al. : What is now known about protein-energy depletion: When copd patients are malnourished. J Respir dis, 4: 36-50, 1983.

新任医師のご紹介

● 総合内科

村上 芽玖美 (むらかみ めぐみ)

昨年度は主に救急外来で、今年度からは総合診療部でお世話になります。

至らない点もあるかと思いますが、患者さまのために日々精進してまいりますので、よろしく願いいたします。

高梨 真樹 (たかなし なおき)

患者さま1人1人に寄り添った診療を心がけていきます。ささいなお悩みでもお気軽にご相談下さい。

● 呼吸器内科

網屋 沙織 (あみや さおり)

地元である池田の皆さまのお役に立てるよう、日々努力してまいります。どうぞよろしく願いいたします。

藤本 豪 (ふじもと ごう)

至らぬ点多々あるかとは存じますが、地域の皆さまのお役にたてるよう、日々尽力致しますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

阪本 直優 (さかもと なおひろ)

池田市民の皆様のお役に立てますように、努力して参りますので、何卒よろしく願い致します。

● 腎臓内科

谷口 裕郁 (たにぐち ひろふみ)

市立池田病院で初期研修より3年間働かせていただき外部病院で1年間過ごし帰って参りました。池田市民の皆さまに還元できるよう努力して参りますので、よろしく願いいたします。

井上 雅隆 (いのうえ まさたか)

初期研修から継続してお世話になります。池田市民の皆さまのために今まで以上に、頑張ります。

● 消化器内科

福武 伸康 (ふくたけ のぶやす)

胆膵疾患に対する内科的治療や内視鏡処置を専門としています。これまでの経験を基にして地域の医療に貢献できるよう努力してまいります。よろしく願いいたします。

齊木 浩二 (さいき ひろつぐ)

地域の皆さまのお役に立てるよう、頑張りたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

中山 俊雄 (なかやま としお)

患者さまに寄り添った医療を提供できるよう努力します。よろしく願いいたします。

花房 賢爾 (はなふさ けんじ)

消化器疾患の診療を通して、地域医療に尽力できればと考えております、宜しくお願い致します。

飯原 卓哉 (いはら たくや)

専攻医としてお世話になります。未熟ですが患者さまに寄り添った丁寧な診療を心がけて参ります、何卒よろしく願いいたします。

奥野 巴琉音 (おくの はるね)

この度ご縁があり市立池田病院に赴任することになりました。精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。



腹膜透析をはじめました

透析と言えば血液透析を思い浮かべる方が多いでしょうが、腎代替療法には腹膜透析もあります。

腹膜透析とは、自分のお腹に透析液を入れて腹膜で透析を行います。

自宅で患者本人や家族によって実施します。血液透析に比べ、身体への負担が軽いのが最大のメリットです。

当院では2022年1月より導入を始め、現在では延べ40名の患者さまが腹膜透析を導入しました。高齢の方もおられます。



腎臓が悪く近いうちに透析が必要と言われている方は、一度かかりつけの先生に相談してみても良いかもしれません。

後発医薬品のある先発医薬品（長期収載品）の選定療養について

令和6年10月1日から導入された「長期収載品の選定療養」は、国民皆保険制度を維持するための取り組みです。後発医薬品（ジェネリック医薬品）がある先発医薬品を希望する場合、特別料金をご負担いただくことになります。

対象となるのは、以下のいずれかの条件を満たす先発医薬品です。

1. 後発医薬品が市販されて5年以上経過した先発医薬品
2. 後発医薬品への置換率が50%以上の先発医薬品

ご負担いただく金額は、先発医薬品と後発医薬品の薬価差の4分の1に消費税を加えた額です。ただし、医療上の必要性がある場合は、特別料金の対象外となります。

将来にわたり国民皆保険制度を守るため、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



新たな仕組みについて

特別の料金の対象となる医薬品の一覧などはこちらへ



後発医薬品について

後発医薬品（ジェネリック医薬品）に関する基本的なこと



今月の一品

そら豆サラダ



材料（2人分）

そら豆	80g
塩	適量
新玉葱	50g
かに風味かまぼこ	30g
和風ドレッシング	大さじ1



作り方

- ① そら豆の黒い部分の反対側に浅く切り込みを入れておく。
- ② 鍋に湯を沸かし、塩を加え煮立ってきたらそら豆を入れる。豆が膨らみ、鮮やかな緑色になるまで3～5分茹でる。
- ③ ザルに上げて冷まし、薄皮をむく。
- ④ 新玉葱を薄切りに切り、かに風味かまぼこをほぐす。
- ⑤ そら豆と④をドレッシングで和える。



栄養管理科

お問い合わせ

ご意見箱を院内に設置しておりますので、病院だより等のご意見・ご感想等をお寄せください。

〒563-8510
大阪府池田市城南3丁目1番18号
TEL 072-751-2881（代表）
FAX 072-754-6374
URL <https://www.hosp.iked.osaka.jp>
編集・発行：市立池田病院 広報委員会

市立池田病院
ホームページ



アカウント：
ikeda_city_hospital



市立池田病院
IKEDA CITY HOSPITAL

